

それぞれの愛のカタチ―弥生―

ク
ア
ト
□

■作品概要

△サークル▽

癒し庵もち猫（シナリオ／効果音／音声編集…クアトロ）

△ジャンル／年齢指定▽

バイノーラル音声作品／全年齢

△作品ボリューム▽

90m 台詞文字数11,218文字

△舞台▽

現代／聴き手の職場（カフェ）／弥生の部屋

■登場人物

△ヒロイン▽

名前 … 弥生（ヤヨイ／22歳）

人物 … 聴き手の～歳年上で彼女／アルバイト先の先輩

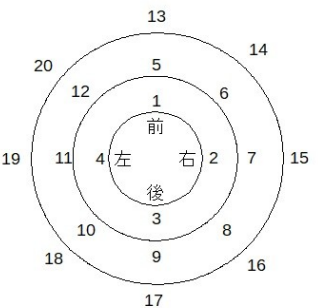
おっとり天然／スタイル抜群／口元のホクロが妙にエロい

いつもニコニコかわわしている／お酒を飲むと泣き上戸になる

趣味／特技…料理／酒蔵巡り／コーヒーを飲む事

△聴き手▽

彼氏 … 大学生（20歳）／アルバイト先の新人／真面目な性格



△台詞位置の指定図▽

図はマイクとの距離を示しています
1～4は30cm
5～12は50cm
13～20は1mを想定しています
距離が取れない場合、
こちらの音量調整等に対応します

1…弥生とバイト終わりに（聴き手のバイト先／夜）

（キーボードを打つ音）

（位置「」から「」へ移動しながら／有声音／小声）

今日もお疲れさまでしたー。

（位置「」／有声音／小声）

閉店まで手伝ってもらっちゃって、ありがとうございました♪

あ、はいこれ、コーヒーです。

（コーヒーを置く音）

マスターがサービスだって、淹れてくれましたー。

それにしても、君も大変な時にこのお店に来ちゃいましたね…。

ううん、来させた、っていうのが正しいですね。

私（わたし）の我儘で、バイト先も一緒にいいって…。

で、こうなっちゃって…。

えー、だって、彼氏ともっと一緒に居たいって思うのは、普通じゃないですか？

彼氏とバイト先が一緒、だなんて素敵だと思いませんか？

君が働く姿を見られる…、それだけで嬉しいんです♪

でもその矢先にまさか、このカフェがテレビで紹介される…、だなんて。

SNSや口コミでもすごい話題になっちゃって…。

もーそれからというもの、毎日たーいへんっ！

そんな時だからこそ、私の我儘を聞いてきてくれた君は、お店の救世主…、なんですよ♪

でもこんな事になるとは思ってませんでしたから、責任を感じてるんです…。

ごめんなさいね…。

え？楽しい…？

そう？

君がそう言ってくれるんでしたら、私も少し救われる気がしますー♪

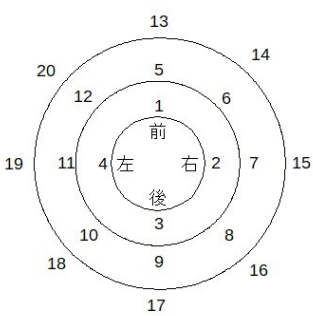
それにしても、君はカフェ店員として優秀ですね…！

えー、だって教えた事は直ぐにこなしていますし、

動きも何だか、私よりテキパキしていますし…。

私ったら、こういう訳か些細なミスが多いんですよね…。

今日もお皿を割っちゃいましたし…、それにオーダーも間違っちゃいました…。



そこが可愛い…？

もー、照れる事言わないで下さいー。

えへへ、でも嬉しいです♪

あ、でも、お仕事中のミスは、めつですよ？

って、君に言える立場じゃないですね…、あははっ…。

ところで、どうしてあんなにも、お仕事を覚えるのが早いんです？

あれが普通…？

えー、だって私、お客様にご注文を届けられるようになるまでに、

二週間はかかりましたよ？

それを君ったら、一目で覚えちゃうんですもん…。

そこには何か秘密が隠されているんじゃないか…、そう思ったんですけど…。

へ…、一度聞いたら覚えられる…、そういうものなんです…。

私ったら情けないな…。

だって…、後からこのカフェに來た君に、教えを乞う、だなんて…。

私にも年上彼女としてのプライドがあります…。

あつ、じゃあ勝負しましょう…！

今までに割ったお皿の数…、何枚ですか？

へ…？ゼロ…？

うっそだー。

一枚くらい割ったでしょー？

え…、本当にゼロなんですか…？

あ…、そうですか…。

ふーん…。

よしっ、この勝負はナシにしましょう…！

えーっと、じゃあ…、何について勝負しましょう…。

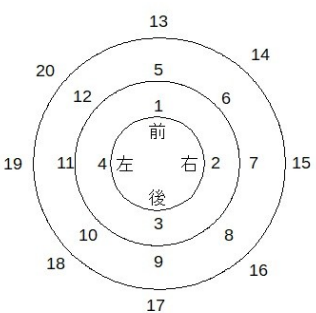
へ…？私ですか…？

それ…、聞いちゃいます…？

うーん…、初日に十枚割ったのは覚えてるんですけど…、それ以降は数えてないです…。

だってー、お皿が勝手に手から滑り落ちるんですよー。

本当ですー…。



(声のトーンを落として噂話をするように)

これは私の予想なんですけど…、多分あのお皿たちは生きてますね…。

そう…、活きのいいお皿さんたちなんですよ…。

とある力フェ…、夜な夜なお皿たちの会話が聞こえてくるって噂にもなってるんですよ…。

(ここまで声のトーンを落として噂話をするように)

へ…？

あ、はい。

嘘です…、今作りました…。

ひーん…、これじゃあ年上としての立場がないですー…。

うう…、何をすれば君に勝てるでしょうか…。

あつ、そっだ。

(弥生が移動する音)

(位置△／有声音／かなり小声)

これだったら、負けませんよ…。

(耳ふー一回) ふー…。

ふふつ、やっぱり。

君はこれにとーっても弱いって、お姉さん知ってるんですから♪

だから、ほら…、降参して下さい…？

(耳ふー二回) ふー…、ふー…。

あれ？

今日は中々強気ですね♪

いつもでしたら、ビクツとして、やめてくれーって言うじゃないですか…。

ふむ…。

(位置△から△へ移動しながら／有声音／かなり小声)

それじゃあこっちも…。

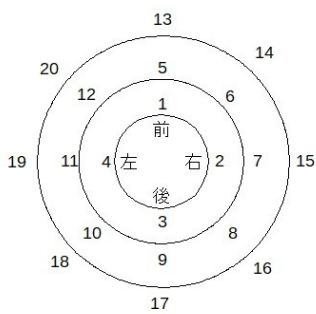
(位置△／有声音／かなり小声)

(耳ふー一回) ふー…。

あつ、肩が少し動きましたね♪

やーっぱり、我慢しているんじゃないですか♪

(耳ふー短く二回) ふっふっ…。



むう…、これでも降参しませんか…。

かくなる上は…、お耳をペロペロしちゃいますっ！

だーいじょうぶです♪

今マスターは裏の倉庫で、コーヒー豆の状態を見に行ってますから♪

へ…？参った…？

えー、何ですかー？

今からペロペロしようと思ってたんですよ…？

(セクシーに)

君に気持ちよくなって欲しかったんです…。

ね…？

いいでしょ…？

(二コマまでセクシーに)

(位置2／無声音／囁き)

なーんちゃって♪

(位置2／有声音／かなり小声)

ふふっ♪

流石にここではしませんよ♪

あ、もしかして、少し期待してました？

あはは♪

ごめんなさいっ、冗談ですっ♪

(位置2／有声音／小声)

さてー、もうこんな時間ですし、上がりましょうか？

あ、今夜うちに来ます？

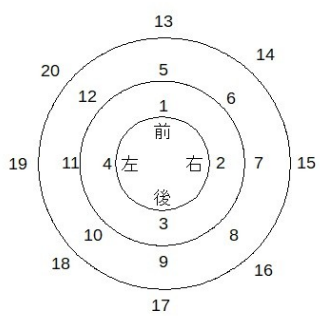
遠慮しなくてもいいんですよ♪

言っただじゃないですかー。

君は私の恋人でしょう？

だったら、もっと甘えてくれてもいいんですよ♪

さ、マスターに挨拶したら、帰りましょう♪



2：弥生の部屋で（弥生の部屋／夜）

（位置／有声音／小声）

ふー…。

いいお湯でしたー♪

今日も疲れたましたねー。

（位置／有声音／小声）

ではでは、早速お風呂上りのお酒を…。

と言いたい所ですけど、君が頑なに止（と）めたので、今日はノンアルです♪

はい、君の分♪

じゃあ頂きましょう♪

（缶を開ける音）

（飲む演技） んっ…、んっ…、んっ…。

ふう…、これはこれでお酒の味がしていると思うんですけど、

やっぱりアルコールが入ってないっていうのが物足りないですねー。

ねえ、どうしてあんなに、お酒を買わせなくなっただんですか？

え？

泣き上戸…？

誰がですか…？

（考え込むように）私…。

またまたー、そんな事ある訳ないじゃないですかー♪

こう見えて私、おしゃけには強いんですっ！

そうですよ？

だからノンアルのこれは、味の付いた水です。

あー、興味ないって顔してますね…。

本当れすよ？

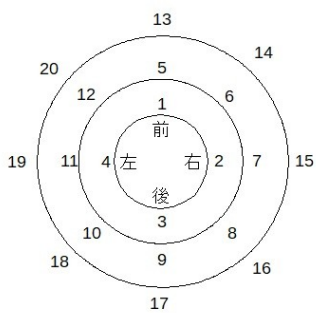
まあでも、これは一本目…、あれ…、二本目…、んん？

…三本も空けたんれすからー♪

えへへー、どうれすかー？

私、強いんれすよー♪

で、信じてくれましたか？



なーんでっ！

信じてくれなきゃやれすー。

やだっ！

やだっやだっ！

信じてくれるまで、寝かさないんですからー。

(ここから泣きそうになりながら)

どうしても信じてくれませんか…？

ぐすん…。

彼女れある私の言う事なんれすよ…？

(ここまで泣きそうになりながら)

(ここからシリアスな感じで)

そう…れすか…。

じゃあもういいれす…。

こうなったら、お誕生日にマスターから頂いたウイスキーを、開けちゃうんれすからっ！

(ここまでシリアスな感じで)

へ…？

信じてくれるんれすか…？

えへへ…、やーっと分かってくれたんれすね♪

という事で、私はおしゃけに強いんれすっ！

シャキーンっ！

ねえ君…。

何だか暑くないれすか…？

お風呂上がりだかられしょうか…。

私…、脱ぎますね…。

んしょと…。

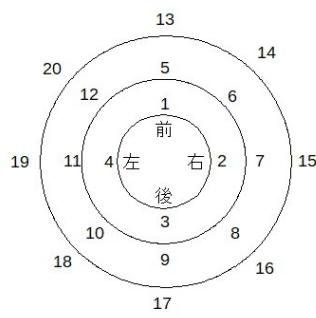
(弥生が服を脱ぐ音)

んあ…？

どうしたんれすか、そんな顔を背けて…？

あ……。

目のやり場に困るんれすね♪



えへへ…、これ、この前買ったんれすよー♪

(位置5で左右にゆらゆらゆっくり動きながらセクシーに／有声音／小声)
どうれすか？

淡い桜色のピンクでセクシーれしよう？

上下セットなんれすけど、上はほう、フリルがたくさん付いてるんれす♪

フリフリー♪

それにー…、下っ！

見えますか？

サイドが紐になつてゐるんれすよー♪

紐つて事はー…、これを引っ張るとー…。

(位置5／有声音／小声)

あははっ♪

冗談れすつてー♪

もしかして、本気にしました？

ふーん、そう言う割には、顔が真っ赤れすよー♪

(ここだけセクシーに) それともー…、私がこんな姿になつても、興奮しませんか…？

ふふっ♪

君はすぐ顔に出るんれすから♪

分かりやすいれすねー♪

(位置5から4へ移動しながら／有声音／小声)

じゃーあー…、もっと近くで見せてあげます♪

(位置4でセクシーに／有声音／かなり小声／ゆっくり)

ほう…、もっと私を…見て下さい…。

これ、一生懸命選んだんれすよ…？

君はどういうのが好きかなーって…。

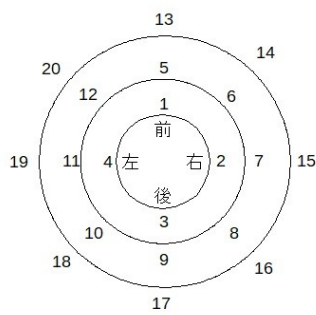
そう…、君に見せるために選んだんれす…。

ほーら…。

ふふっ♪

照れてる君…可愛れすね♪

そうれすよ？



だって普段は、しっかり者で、ミスもしない…。
私から見たら完璧な人って感じなんれすもん…。

そんな君が…、私の下着姿を見て、こんなにも動揺しているんれす…。
そんなの可愛いに決まっています…。

ねえ…、私を…、どうしたい…？

私だって年上なんれすから…、君が望むなら、聞いてあげたいんれす…。

困った、って顔れすね…。

じゃあこういう時は、私がリードしないと…。

ほら…、ここに来て下さい…。

そう…、私の胸に…。

(位置／有声音／かなり小声／ゆっくり)

ぎゅーっ…。

(弥生の心音)

どうれすかー？

って、君ー、そんなに鼻をひくひくさせて…、匂い…、気になります？

いい匂い…、れすか？

そうれすか…。

お風呂に入った後でよかったですね♪

あらあら…、安心した顔も、可愛いれすね…♪

何だか、子供をあやしているようれす…。

ふふっ♪

可愛い子には、いい子いい子しましょうねー♪

(頭を撫でる音)

ほーら…、いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

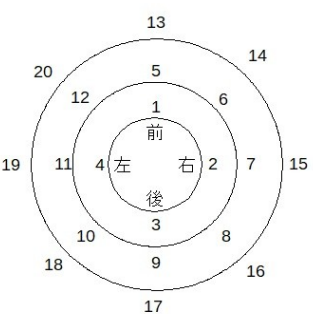
よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

そう言えば、君の頭をこうして撫でるの、初めてれすね…。

どうれすか…？

ふふっ♪



じゃあ続けますね♪

いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

ん？

どうしたんれすかー？

眠たくなっちゃったんれすね♪

いいれすよー、寝ちゃっても。

ふふっ♪

まるで、おつきな赤ちゃんれすね♪

よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、
いい子…。

よーし、よーし。

よし…、よし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、いい子…。

よーし…、よーし…。

よし…、よし…。

いい子…、
いい子…。

いい子…、
いい子…。

よーし…、よーし…。

よしし…、よしし…。

いい子…、いい子…。

いい子…、
いい子…。

よしし…、よしし…。

よしし…、よしし…。

い子…い子…。

い子… い子…。

よし、よし。

よーし、よーし。

い子… い子…。

い、い子……い、い子……。

太一、太一、太一。

[illegible]

子。子。

、
、
、
、
、
、
、
、

。、
、
、
、

[illegible]

○
≦
\\
、
\\
≦
\\

1	1	1
1	1	1
2	2	2
、	、	、
1	1	1
1	1	1
2	2	2
0		

3. 弥生と迎えた朝（弥生の部屋／朝）

（位置19／有声音）

あ、目が覚めましたか。

おはようございます♪

（位置19から5へ移動しながら／有声音）

ああ、昨夜（さくや）はあのまま眠っちゃいましたね♪

（位置5／有声音／小声）

って、ふふっ♪

寝ぐせ、立ってますよ♪

ほら、顔を洗って来て下さい？

タオルは新しいのを置いてあります。

あつ、それと、歯ブラシは毛先が広がり始めていたので、新しく買ってあります。

そうです、青い方♪

ピンクのは私のですから、間違わないで下さいね？

はい、行っちゃっしゅい♪

（布団から出る音）

（足音）

（歯磨きの音）

（うがいの音）

（顔を洗う音）

（足音）

（位置19から5へ移動しながら／有声音／小声）

あつ、戻ってきましたね♪

（位置5／有声音／小声）

さあ、朝ご飯にしましょう♪

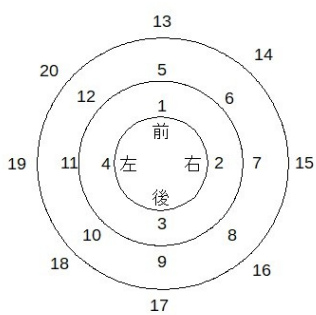
今朝は君の好きなあまーい厚焼き玉子と、ほうれん草のお浸しに、お味噌汁です♪

はい、ご飯どうぞ。

はい、じゃあ手を合わせて下さいっ！

頂きます♪

（食べる演技）はむっ…、はむ…、はむ……。



うん、我ながらよく出来ていますー♪

どうですか？

結構自信あるんですけど…。

本当ですか？

よかったー…。

今日のお味噌汁、いつもと違うと思いませんか？

そうつ！お出汁が違うんですつ！

マスターの奥さんが料理上手で、美味しいお出汁の取り方を教わったんですよー♪

これを食べてもらえば、君もイチコロだろう…って奥さんが仰っていました♪

コロっと来ましたか？

えへへー…、やりましたー♪

そう言えば…、昨夜（さくや）の記憶が曖昧なんですけど…。

ええ…、お風呂を上がった所までは、ハッキリ覚えています…。

その後の記憶が…。

どうやってベッドに入ったのかも、覚えてないんですよー…。

君は何か覚えていますか…？

ん？

何で黙っちゃうんです…？

もしかして…、私に何かしました…？

ふむ…、そうですね…。

それじゃあ話してくれてもいいじゃないですかー。

気になりますー。

ねーえー、教えて下さいよー。

へ…？

フリルと紐の下着…？

な、何で今服の下に着ている下着を当てられたんですかつ？

も、もしかして、君ってエスパーだったとか？

あ、それとも、寝ている間に覗いたんですか？

ふむ…、違いますか…。

え？

確かに君に見せたくて買った下着ですので、見られても問題はないんですが…。
その、心の準備、というものがあります…。

へ…？

酔って…、私から脱いだ…？

え、でも昨夜（さくや）飲んだのはノンアルでしたよね…？

えーっと…、頭がこんがらかって来ました…。

先ず、お酒に強い私が酔う、というのが不思議ですし、

そもそもノンアルで酔うはありません…。

むむむ…。

謎ですね…。

ん？

何をキョトンとした顔をしているんですか？

まあいいでしょう。

君はとーっても純粹ですから、変な事はしていないっていうのは分かりました。

でも、せっかく買った下着を見られたのは不本意です…。

ですから、今度はもっと君が喜びそうなの、見てもらいますからね？

いいんですー。

ふふっ♪

君がこういう反応するのか楽しみですね♪

慌ててももう遅いですよ♪

オトナの女、つてのを見せ付けちゃうんですからっ♪

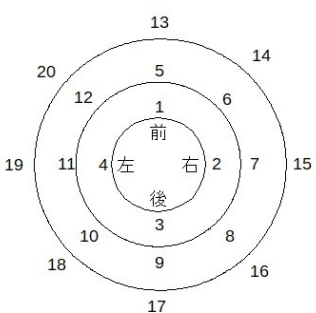
ふう…、ご馳走様でしたー。

あ、食器、片付けちゃいますから、君はまったりしていいですよ♪

（食器を重ねる音）

（弥生の足音）

（食器を置く音）



4…弥生と朝食後のまったりタイム（弥生の部屋／朝）

（弥生の足音）

（位置～／有声音／かなり小声）

よじつと♪

今日のバイトは二人とも遅番ですから、ゆっくりできますね♪
という事で…、まったり…。

（弥生が抱き着く音）

えへへ…、昨夜（さくや）はよく覚えてないですから、今こうして甘えちゃいまーす♪
君に抱き着いてると安心します…。
それに…、君の匂い…。

（匂いを嗅ぐ演技） くんくん…、くんくんくん…。

わー、やっぱり落ち着く匂いですねー♪

もう一回…。

（匂いを嗅ぐ演技） くんくん…、くんくん…。

えー、いいじゃないですかー。

好きな人の匂いって、嗅ぎたくなりません？

あ、私の匂いも嗅いでみます？

遠慮しなくてもいいじゃないですかー。

ほら、嗅いでもいいですよ…？

あ、それとも、君はこっちの方がいいですか？

チラっ♪

あー、目を逸らしたら駄目ですー。

ほら、君のために買った下着…、見て下さい…？

私、また胸が大きくなったっぱいんですよね。

せっかく可愛い下着を買っても、サイズが合わなくなるのは残念ですー。

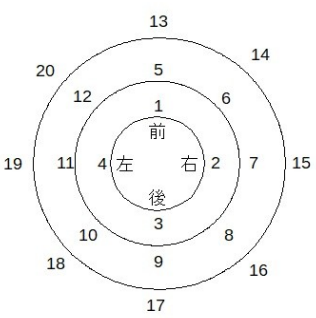
だ・か・らー…、これを見られるのも今の内だけかもしれませんよ♪

ほらほら、見なくてもいいんですか？

んもー、恥ずかしがり屋ですねー。

（ここからセクシーに）

それとも…、私の下着には、興味ないですか…？



ねえ…、もっと正直になって下さい…？

今なら…、可愛い下着と…、ふわふわの谷間が…、見放題ですよ…。

見るだけじゃ物足りないなら…、触ってもいいんですからね…？

ほら…、ほーらっ…。

(ここまでセクシーに)

ふふっ

冗談ですよ

相変わらず、君はシャイなんですネ

君のそういう真面目な所、好きですよ

まあだからこそ、からかいたくなる、っていうのもありますけど

あー、ごめんなさい。

真面目な君には刺激が強すぎましたか？

じゃあ、からかったお詫びと言っては何ですけど、耳かきしてあげましょうか？

ええ、最近していなかったでしょう？

えー、いいじゃないですかー。

やーですよー。

やるんですよー。

って事でー、こーこっ

早く早くっ！

(膝を叩く音)

(膝に寝転ぶ音)

(位置／有声音／かなり小声／ゆっくり)

えへへ…、ちよっと強引でしたか…？

ううん、ここは年上として、君をリードしてあげないと

そうですよ？

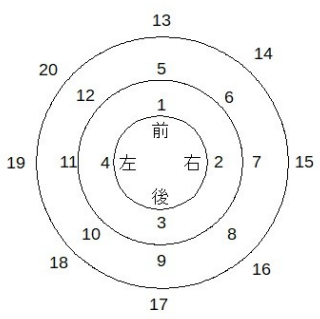
私だってやる時はやるんですから

見て下さいよー。

(弥生が耳かき棒を探す音)

あれ？

耳かき棒は…、んー…、どこでしたっけ…？



あ、ありましたー♪

どうですか？

準備万端でしょう？

(とぼけた様に)

え？

何の事ですか…？

よく分かりませんねー。

(ここまでとぼけた様に)

(ティッシュを取る音)

ではではー、始めていきます♪

んー…、久しぶりにやるので、結構汚れていますねー…。

では手前の方から…、やっていきますねー…。

カリ…、カリ…。

カリ…、カリ…。

ふふっ♪

早速とろけた顔をしていますね♪

可愛い♪

優しくやっていきますけど、もし痛かったら言って下さいねー…。

カリ…、カリ…。

(呼吸音) すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

カリ…、カリ…っと…。

うーん…、あっ、取れましたー♪

(耳ふー一回) ふー…。

毎回思うんですけど、耳かき中って無言になっちゃいますよね♪

集中してるからっていうのもありますけど、

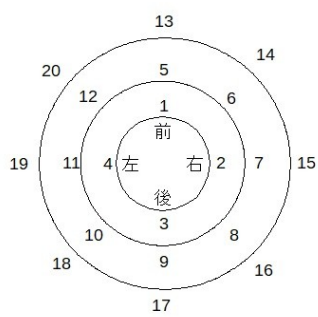
気持ちよさそうにしているのに、話しかけたら邪魔かなーって思っちゃうんですー。

君はどっち派ですか？

そうですね。

ではこのまま、静かにやっていきますね♪

(しばらく自然な呼吸音／一部台詞／呼吸音は更にゆっくり)



すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
カリ…、カリ…、カリ…つと…。

(耳ふー一回) ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

(二こまで呼吸音)

このまま、奥をやっていきますね♪

慎重に…。

(しばらくまた自然な呼吸音／一部台詞／呼吸音は先程と同じくらいゆつくり)

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…。
カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、ふー…。
すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、ふー…、ふー…。

(二こまで呼吸音)

んー…、目立った…、汚れは…、もうありませんね…。

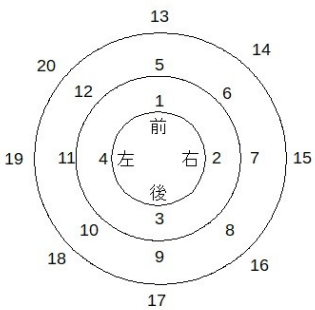
では梵天で、ふわふわしていきますね♪

ふわふわー…。

あ、こーらっ、くすぐったくても動いたら危ないですよ？
はい、ジッとしていて下さい♪

(耳ふー二回) ふー…、ふー…。

ふーわ…、ふーわ…。



(耳ふー長め一回) ふー…。

最後にもう一回…。

ふわー…、ふわー…。

(耳ふー一回) ふー…。

うん、綺麗になりました♪

では次、反対をしましょうね♪

ゴロンとしてもらえますか？

(寝返りの音)

(位置▽／有声音／かなり小声)

はい…、こっちもやっていきますね♪

えーっと…、ふむふむ…。

こちらもあり甲斐がありそうです♪

ではそーっと…。

カリ…、カリ…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

(しばらく自然な呼吸音／一部台詞／呼吸音は先程と同じくらいゆっくり)

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

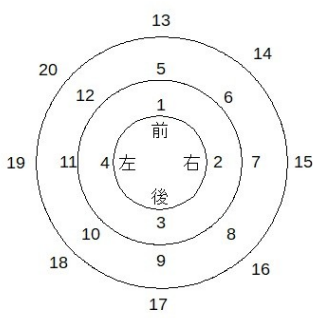
すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

(ここまで呼吸音)



そう言えば、人のお耳の穴って…、左右で形が違うんですね。
ええ、こちらのお耳は、少し複雑な形をしています…。

そのせいか、奥の方がよく見えないんですね…。

ですので、奥の方をやっていく前に、よく見させて下さいね？

えーっと…。

え…？

どうしたんですか？

胸…？

あ…、当たって…。

ふふっ♪

そんなに慌てた顔をしてー。

私は別に構いませんよ？

だって君の彼女なんですから、これくらいどうって事ありません♪

ですから…、えいっ♪

もっと押し付けちゃえー♪

うりうりー♪

あははっ♪

ごめんなさい、ちよつとやり過ぎましたね♪

えーっと…、そうそう、耳の奥を見るんです。

ふむふむ…、成程…。

汚れの位置は把握出来ましたので、続きをしていきますね？

(しばらく自然な呼吸音／一部台詞／呼吸音は先程と同じくらいゆっぺん)

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

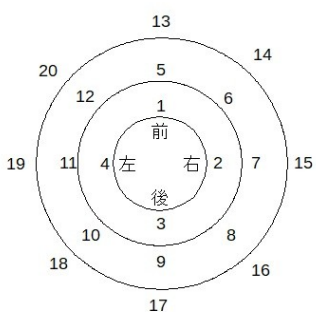
すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。



すー…、ふー…、すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、んー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。
すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

(ここまで呼吸音)

よしっ、こっちも見えている汚れは取れました♪

ではでは、梵天ですね♪

ふわー…、ふわー…。

(耳ふー二回) ふー…、ふー…。

ふわふわー…。

(耳ふー短め二回) ふっ…、ふっ…。

ふーわ…、ふーわ…。

(耳ふー一回) ふー…。

っとー。

はい、お終いです♪

ところで君ー…。

私の胸の感触はどうでした？

柔らかくて、温かかったでしょう？

ふふっ♪

恥ずかしがらなくても、正直に言っていいいんですよ？

え？

昨夜経験した…？

ん…？

やっぱり寝ている間に、私に何しましたか…？

むむ…、そこで黙るって事は、やっぱり何かしたんでしょー？

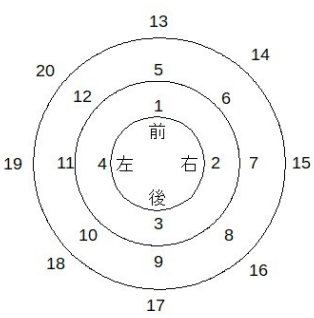
ふむ…、黙秘しますか…。

そういう君には…、こうですっ！

えいつ！

(胸と膝に挟まれる音)

胸と膝に挟まれた今、身動きが取れないでしょう？



うりうりー♪

って…、君にとっては「褒美」ですね…、これ…。

(弥生が離れる音)

あっ、じゃあこうしましょう♪

胸を直接押し付けるっていうのはどうです…？

(弥生が服を脱ぐようにする音)

ほら…、君の彼女の胸…ですよ…。

チラっ♪

もーっと見たいですか？

チラっ♪

あははっ♪

冗談ですっ♪

あらら…、参ったって顔をしていますね…。

ちよっとやり過ぎちゃいました♪

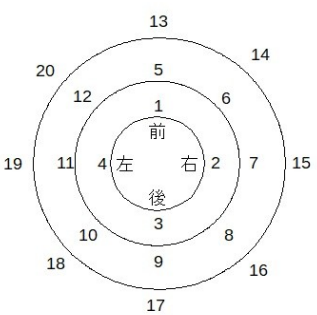
はーい、じゃあ耳かきはお終いです。

ええ、起き上がって下さい♪

(起き上がる音)

(位置5／有声音／小声)

久しぶりに耳かきをして、君の幸せそうな顔を見ていたら、私も癒されましたー♪
はーい、どうしたしましてー♪



5…弥生とコーヒータイム(弥生の部屋／昼前)

(位置5で「」の方を向きながら／有声音／小声)

えーっと…、まだこんな時間ですか…。

バイトまでは結構時間がありますね…。

(位置5／有声音／小声)

お昼ご飯にはまだ早いですし、どうでしょうか…？

うーん…。

あっ！

そっだっ！

コーヒータイムにしませんか？

この前マスターから、いい豆が手に入ったよって、少し頂いたんです♪
ですから、それを頂きましょうっ！

ね？そっしましょう♪

では、道具を色々と持ってきてますから、少し待っていてくださいね♪

(弥生が立ち去る音)

(位置14／有声音)

えーっと、コーヒー豆と…、コーヒーミルに…、ドリッパー…、それにフィルターっと。
お湯はまだ残ってましたよね…。

うん、大丈夫♪

あとはマグカップを…っと。

よしっ、これで大丈夫ですね♪

(弥生が戻ってくる音)

(コーヒー一式を置く音)

(位置5／有声音／小声)

ふう…、これだけ持ってくると、結構重いですね…。

え？

ああ、いいんです。

君はお客様役なんですから♪

そうです。

お客様に手伝ってもらうだなんて、カフェ弥生の名誉に関わりますもんっ。

え？

ああ、ええと、今はカフェ弥生、限定オープンなんですっ！

君だけのお店、ですよ♪

と言っても、コーヒーを淹れるのは、マスターには敵いませんけど…、あはは…。
では早速ですけど、コーヒーを入れていきましょう♪

(コーヒーの袋を開封する音)

(匂いを嗅ぐ) くんくん…。

わーっ！

これ、すっごくいい香りです♪
ほら、君も嗅いでみて下さい。

（袋の音）

どうです…？

ね？

芳醇でいい香りでしょう？

これ、コナコーヒーなんですよ♪

そう、ハワイの、コナ地区で栽培されているコーヒー豆です♪

コナコーヒーって高級で、しかもこれ、最上級のものなんですってっ！

それもあって、マスターから頂いたのは、御覧の通り少量ですが、

それはそれで、特別感があっていいと思うんです♪

今日はもっと特別感を出すために、ストレート…、

つまり100パーセントこの豆だけを使って淹れますね♪

ああ、いいんです。

君との時間はいつも特別であって欲しい…、そう思っていますから♪

ですから、ドーンと奮発して味わっちゃいましょう♪

では早速豆を挽いていきます。

（豆をミルに入れる音）

二人分ですから…、これくらいでしょうか…。

香りを最大限楽しむために、中挽きくらいに挽いていきます♪

（ミルで豆を挽く音）

うーんっ♪

豆が砕けてきたので、更に香りが強くなってきましたね♪

（ゆっくり）

目を閉じて…想像してみてください…。

まるで一面に広がるコーヒーの花が、咲き乱れている様に感じませんか…？

コーヒーの花って、咲いて二日で散ってしまうんですよ。

ですから、雪が解けてしまう様だって言われてるんですって。

特に、常夏のハワイで咲き乱れるコーヒーの花は、

その見た目から、コナスノーと呼ばれているみたいです♪

(「」までゆっく)

そろそろかなー？

よしと♪

これくらいでいいでしょう♪

ではー、挽いた豆を取り出して…。

(ミルを開ける音)

わあー、すっごくいい香りですー…。

コーヒーの香りってね、リラックス効果があるって実証されてるんですよ♪

あとあと、脳の働きを、よくする効果もあるらしいです♪

アニメなんかで、寝起きに、これから頑張るぞ、ちよつとひと息…、

何て時にコーヒーがよく飲まれている、っていうのも納得ですー。

ではこれをー、早速ドリップしていきましよう♪

ドリッパーにフィルターをセットして…。

ここでひと手間なんですけど、空のフィルターにお湯を注ぐんです。

(お湯を注ぐ音)

これをする事によって、フィルターの臭いを除去したり、温める効果があるんですよ♪

このひと手間で、コーヒーの味が澄んだ味になるんですよ♪

そうしたらお湯は一旦捨てて…。

(お湯を捨てる音)

次にー…、ここに先程挽いたコーヒー豆を入れて…。

少し表面を整えます…。

こんな感じでしょいか。

ようやくここでお湯を注ぐんですけど、いきなり一気に注いではいけないんです。

お湯は少量…、豆全体が濡れる様に注いで…。

ここでまたひと手間です。

注いだお湯が全体に行き渡るように、軽く混ぜてあげるんです。

こうする事によって、味がガラリと変わるんですよ♪

そうしたら…、30秒程蒸らします…。

ほら、聞こえますか？

(豆を蒸らす音)

パチパチ…、シュワシュワって音がしてますよね？

豆にお湯が浸透して、炭酸ガスなどが出て行く音なんです♪

こうしないとガスが邪魔をして、上手くドリップできないので、

蒸らしはとーっても重要なんですよ♪

蒸らしの長さは好みに寄るんですけど、今日はこれくらいにしておきましょう。

人に寄っては、五分以上蒸らす人もいますっつー！

私は…、そうですね…、割と待つのが苦手なので、長くても一分くらいですねー。

えー、だってー。

コーヒー豆の匂いを嗅いでいると、早く飲みたいーってなりません？

でしょー？

ですからー、これくらいでいいんですっ♪

では本番のお湯を注いでいきますねっ♪

ドリッパーに溜まるお湯が一定になる様に…。

(しばらくお湯を注ぐ音)

それでいて溢れない様に少量ずつ…。

これって結構難しくて…、上手く注がないと、豆全体から抽出されないんですー。

バイトでまだ慣れない頃は、マスターにみっちり教えてもらいましたー。

マスターったら酷いんです…。

腰の角度が甘いーとか、注ぎ過ぎだーとか、とにかくこだわりが強くて…。

でもそのお陰か、今では結構上手になったと思いますよ♪

お客さんも、私がドリップしたコーヒーがいいって、指名して下さる方もいますし♪

それはもう、嬉しいですよー。

何だか認められたなって思った瞬間でしたー。

私って、やれば出来る人間なんですよっ！

あ、その顔…、信じてませんね…？

まあいいですよ…？

この私が愛と情熱を込めて淹れたコーヒーを飲んだら、証明出来るはずですよっ！
よしっ！

これで二人分はありますっ♪

では、カップに移しましょうっ！

（カップに注ぐ音）

こっちは君ので…、こちらは私の…つと…。
では頂きましょう♪

まずは改めて香りを確認してみましよう…。
わあーっ！

すっごく香ばしくていい香りですねー♪

まるでハワイの日射しと、潮風（しおかぜ）を感じるようですねー♪
お次はやっぱり味ですよね♪

（コーヒーを飲む演技）ずずっ…。

んんー…！

おーいしいっ！

何…、これ…っ！

今までこんなコーヒー飲んだ事ないです…っ！
ほら君も、冷めない内に飲んでみて下さいっ！

（コーヒーをひと口飲む音）

どうです？

でしょう？

これで私の実力、認めてもらえましたか？
うんうん、分かればいいんですっ♪

それにしても…、マスターが淹れてくれるコーヒーは、いつも美味しいんですけど…、
それとはまた違った美味しさがありますね…っ！

これが豆本来の美味しさ…、というものなんでしょうか…。

独特の酸味の中にも、フルーツの様に芳醇な香りがあるのが印象的ですね…。
って、君ー、何を驚いた様な顔をしているんですー？

私だってコーヒーが好きで、あのカフェでバイトしているんです。

コーヒーの味について吟味する事くらいしますよ？

むう…、意外って顔をしないでくださいーい。

これでも将来は、本当にコーヒーショップを開きたいなって思っているんですっ！
君の知らない所で、色々と勉強しているんですからっ！

あっ、当然ですけど、お店を開いた時のスタッフに、君も含まれてますからね？

当たり前じゃないですかー。

君は私の彼氏…、なんですから♪

えへへー♪

ちゃーんと、そこまで考えているんですよ！

ですから、君にも色々と学んでもらわないと、ですね♪

(位置5から2に移動しながら)

あつ、そうそう、聞きたい事があつたんです。

(位置2／有声音／小声／セクシーに)

なーに身構えてるんですか…？

もしかして…、お店を手伝うっていう…、意味について考えてます…？

ふふっ♪

やーっぱり。

あー…、でも…、今はそういう難しい話をするつもりはありません♪

何かって…、言うんですね…？

(ここまでセクシーに)

(位置2／有声音／小声)

今度のお休みの日、映画を観に行きませんか？

そう、今話題になってるアレです♪

予告版を観た時から気になっていたんです！。

ね？いいですよね？

やった♪

では今度、二人ともバイトがお休みの日があるじゃないですかっ！

その時に行きましょう♪

いいんですか？

やりましたー♪

楽しみが一つ増えましたねー♪

あ、君という時はいつも楽しいですから、強いて言うなら…、超超超楽しみつ、ですね♪

えー、恥ずかしく何てないじゃないですかー。

だって私は…、君の事が大好き…、なんですから…っ♪

ふふっ♪

